

2017年1月



葵総合経営センターだより

謹んで

新年のお慶びを
申し上げます

発行人 葵総合経営センター
代表 杉浦 康晴

〒460-0012
名古屋市中区千代田三丁目14番22号
TEL<052>331-1740(代表) FAX<052>339-1816
E-Mail aoi@aoi-cms.com
URL <http://www.aoi-cms.com/>



目次

2	センター代表	杉浦 康晴	6	康友会 会長	籠橋 美久
3	特定社会保険労務士 税理士	杉浦 玲子 古田 益三	7	センター会長	杉浦 正康
4	長谷川留美子法律事務所 株式会社葵経営コンサルタンツ	長谷川留美子 中島 和人	8	確定申告の主な改正点と注意事項	
5	株式会社コスモシステム	佐藤 修	10	秋の康友会行事「越前をめぐる旅」	
			11	康友会ゴルフ・税務労務	
			12	ご案内	

No.561

謹賀新年

センター代表 杉浦 康晴

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は熊本地震などの自然災害や東京五輪に向けた諸問題がありながらも、今年の漢字として選ばれた「金」が表すように、リオ五輪をはじめ明るい話題も多かったように思います。また、イギリスのEU離脱、アメリカの大統領選、日ロ首脳会談等、日本にも大きく影響を受けるような国際ニュースも多く、「世界の中の日本」ということを考える機会が多かったようにも思います。

さて、平成29年はどのような年になるでしょうか。平成29年度税制改正大綱が出たところですので、その概要について少し触れたいと思います。個人所得税については「配偶者控除・配偶者特別控除の見直し」、資産税については「自社株評価の見直し等」「相続税・贈与税の納税義務者の範囲の見直し」他、法人税関連については「中小企業向け投資促進税制の改組」「中小企業向け固定資産税減税の見直し」他、国際課税については「外国子会社合算税制の総合的見直し」などが主要項目としてあげられますが、特に目玉となるような改正はありません。税制面でもアベノミクスの後押しが期待されます。

そんな日本経済の先行きが見えなくなっている中、地元名古屋では景気の良い話で盛り上げていきたいものです。

2027年の開業をめざすリニア中央新幹線の名古屋駅がいよいよ着工となりました。この工事は、JR名古屋駅に発着する新幹線と在来線を走らせながら地下約30メートルを掘る作業になるとのこと。リニアの名古屋駅は長さ約1キロメートルという長さですので安全第一で進めなければなりません。

また、年明けすぐの平成29年4月にはJRゲートタワーが全面オープンします。すでに昨年11月にはオフィスが入居していますが、「タカシマヤ ゲートタワーモール」、「名古屋JRゲートタワーホテル」がオープンすることにより、ますます名古屋駅前が元気になることでしょう。「名鉄百貨店再開発」はじめ名駅南地区の開発もまだ計画段階のようですが、名古屋駅前開発を中心に栄地区、ひいては東海地方全体の経済が活性化されることが望まれます。

そのような中、経営者の皆様におかれましては、税や労務のことだけでなく、企業経営において日々色々な課題や問題があることと思います。是非当センターにご相談いただければと思います。

皆様には今年一年が素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

税理士 古田 益三

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、世界の経済、政治に大きな影響を与える「まさか」が2つもありました。

1つ目がイギリスのEU離脱です。これにより英国に進出した日本企業に対する経済的な影響が心配されます。

2つ目はアメリカ大統領にトランプ氏が就任することです。トランプ氏は選挙戦でもメキシコとの国境に壁を築く等、強いアメリカにするため国内産業を保護するような政策を打ち出しております。この2つの出来事は大方の予想とは全く反対の結果となりました。

一方、わが国は、アベノミクスに行き詰りが見えてきており、日銀による金融政策はどれも効果を発揮しない経済情勢になってきております。昨年の12月には国民の反対が強いなか改正国民年金法や統合型リゾート施設整備推進法を強行採決で成立させました。政府は現状の経済情勢の好転を図るため経済界に賃上げを要請し、それにより消費拡大を目指しておりますが、大企業は対応できても中小零細企業では賃上げに回す原資がないのが実情ではないでしょうか。12月8日に平成29年度の税制改正大綱が発表されましたが、目新しい減税項目はありませんでした。

現在の景気が停滞している中、将来に向けて明るい光が差し込む1年にしたいものです。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

特定社会保険労務士 杉浦 玲子

あけましておめでとうございます。

昨年の、世界の国々のトップの交代は、これまでにない激しい変化をもたらさそうですが、人々の命を守り、安全、安定に導いていただきたいと願っております。

労働市場は、慢性的な人手不足にみまわられております。ワークライフバランスから働き方改革に、一步踏み出しました。働く人の意識とのミスマッチ、生身の人間と向き合う人事管理の必要性を痛感いたします。

昨年、法隆寺にお参りする機会があり、念願の「以和為貴」の御朱印を頂いて参りました。鮮明で、品格のある墨跡に心が洗われる思いをいたしております。17条憲法の本質に、就業規則の原点を、求めております。又人事管理の原点は、冠位十二階の人事考課にありと発見でき、感激いたしました。

一億総活躍社会の実現を目指し、女性が輝く社会実現に政策がとられております。森羅万象は陰と陽の関係と東洋の思想を「ツボ教室」で学びました。格差を生まない社会バランスのとれた政策を望みたいものです。

マイナンバー制度が本格実施されました。まだ、安全対策が十分にとられてない実態にIT社会化の不安は払拭されていません。

年金制度改正、議論されず、理解されず、法案が成立いたしました。目まぐるしいスピードで世の中のが変わってきます。情報の仕入れ急がれます。

本年もよろしく申し上げます。



弁護士 長谷川 留美子

あけましておめでとうございます。

昨年は、公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引下げられました。現在は、民法の成人年齢を18歳に引下げる改正が俎上にのぼっています。

民法上成人になると、法律行為を単独で有効に行なうことができます。現在は20歳にならないと自分ひとりだけで法律行為を行なう能力がないために、大学進学の際の下宿の契約などは、親権者の同意を得るか代理してもらわなければなりません。高校卒業後自立して働く場合などは、何かと不便なことがあるでしょう。

一方、未成年者が単独で行なった法律行為は取消することができるということによって、未成年者は保護されているといえます。甘い勧誘によりうっかり契約してしまっても、成人を装うなどの詐術を働いていない限り、未成年者であることだけで契約を取り消すことができます。

18歳が成人年齢になると、高校生のうちからこの保護を受けられない場合が出てきます。そうすると、いろいろなセールスの餌食になる恐れがあります。まだ自分の稼ぎのないうちから、負債を抱えてしまうことになりかねません。

新年早々警告のような記事で恐縮ですが、まもなく成人の日、成人年齢について一度考えてみてはいかがでしょうか。

本年もよろしく願いいたします。

株式会社 葵経営コンサルタンツ 中島 和人

新年明けましておめでとうございます。

星野リゾートの星野社長が外資系ホテルの提供するサービスと日本の旅館が提供する「おもてなし」との違いについて非常に参考となる考えを述べています。

それは外資系ホテルのサービスがお客様の注文に対して、迅速、正確に返すバトラー(執事)サービスであるのに対して、「おもてなし」は、旅館とお客さんが対等の立場にあり、旅館がリスクを取って自分の世界観をお客に提供し、それを楽しんでいただくといった違いであり、そして評価指標も前者が“お客様のニーズにどこまで応えられるか”に対して、後者は“お客さんが気付いていないニーズをどれだけ掘り起こせるか”というように同じホテルのサービスでありながら異なるサービスであるという考えです。

これはサービスの優劣の話ではなく差別化やイノベーションといった戦略の話であり、自社の製品定義の話であると考えます。

医療・介護業界を含め成熟化し競争が激しい業界では、顧客の声をいくら聞いて改善を進めても他との同質化から逃れることはなかなか困難な状況にあります。よって革新的な変化を目指して視点を変え自社が提供する商品・サービスを見直すことも必要なのかもしれない。

当社も皆様のお役に立てるよう一層の努力をいたしたいと考えます。本年も宜しくお願い申し上げます。

株式会社 コスモシステム 佐藤 修

新年あけましておめでとうございます。

昨年センターだよりで紹介しました2016年注目ITワードの5位AI（人工知能）に関する記事を同9月号・11月号で書かせていただきました。年頭の挨拶ではありますが、AIに関心を持つなかで見つけた本と映画についてご紹介させていただきます。

我が国将棋界の状況について書かれた本、「不屈の棋士」大川慎太郎著は本の帯に人工知能に追い詰められた「将棋指し」たちの覚悟と矜持とあります。私自身は将棋に関してはまったくの素人ですが、将棋を知らなくても読みごたえのある内容だと思います。

2016年11月にリリースされたDVD：原題EX_MACHINA（エクスマキナ）という映画はSFスリラーというジャンルです。あらすじ：世界最大のインターネット会社“ブルーブック”でプログラマーとして働くケイレブは、普段は滅多に姿を現さない社長のネイサンが所有する山間の別荘に1週間滞在するチャンスを得る。しかし、人里離れたその地でケイレブを待っていたのは、美しい女性型ロボット“エヴァ”に搭載された世界初の实用レベルとなる人工知能のテストに協力するという、興味深くも不可思議な実験だった…。

是非一読・観賞をしてみてください。

今年もAIに関するウォッチャーを続けて、センターだよりにてご紹介します。

本年もよろしくお願い致します。

《表紙の写真募集》

葵総合経営センターでは表紙に掲載する作品を募集しています。

撮影された写真はもとより、陶芸や生け花、絵画など、さまざまな作品を募集しております。（こちらから撮影に伺うことも可能です。）

自薦他薦は問いません。どしどしご応募ください。お気軽に担当者、又は下記までご連絡ください。お待ちしております。

葵総合経営センター

TEL ☎ : 052-331-1740

康友会



康友会会長 東菱電子株式会社 代表取締役 籠橋 美久

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望の新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、政治、経済にとっては、激動の一年であったと思います。

難民問題に端を発し、イギリスのEU離脱から始まり、政権の交代が生じ、EU離脱ムードが現実となりつつあります。

また、アメリカ大統領選挙で事前の予想に反しトランプ新大統領が生まれ、内向的で混乱した経済情勢が強まり、一段と経済の先行きが不透明となりました。

この様に、従来のデータ、常識では判断が付かない、先の読めない難しい状況にある中、経営者は大変難しい舵取りを余儀なくされつつあります。

株式市場においては、米国の市場に引っ張られるがごとく、今年度最高値を更新し景気浮揚が期待されます。一方、金融においては、ゼロ金利が継続中ではありますが、当初の経済効果からは、程遠い結果で推移しているのが現状であります。

また、今年度国会においてTPPを批准し、大きな期待をしていましたが、世界情勢の変化から観て不透明感が増し、発効はなお見通せない状況です。

この様に様々な政策が打ち出され、経済効果が期待されましたが、未だ我々小企業には良い効果が得られず、苦しい経営が続いております。この様に、社会情勢は、激動の世から抜け出せず今日を迎えております。

一方、スポーツ界では、オリンピックがリオにて開催され、アスリート達の活躍、頑張りを目に致し、多くの国民が「勇気と感動」を頂いたと思います。

私たち康友会も、積極的な経営活動と感動的な良い結果を目指し、皆様と一丸となって難局を克服するべく努力して参りたいと決意を新たに致すと共に、会員企業様の更なる発展に役立つよう努力する所存でございます。

本年も皆様方にとって飛躍する年でありますよう心から祈念し、新年のご挨拶を申し上げます。